

生徒総会（生徒会代表者会議）が開催されました。

6月7日（金）、1年生の新しい会員を迎え、本年度の生徒総会（生徒会代表者会議）が開催されました。生徒会行事の中で最も重要なものの一つがこの生徒総会です。自分たちの考えを正規な手続きをとって、直接学校に向けて提案できる場になります。この会では、会員の代表者が木屋瀬中学校をより良くするためにはどうすればよいかを考え、学校の生活やきまり及び学校に対する要望等が提案・議論されました。承認されたものについては、職員会議で先生方と審議させていただきます。また、校則等については、PTA役員や学校運営協議会委員の方々のご意見をいただこうと思います。さて、この生徒総会を成功させるために生徒会執行部並びに関係の先生方は、かなり前から準備を進め、リハーサルを重ねてきました。また、議長団や集計係のみなさんのおかげで、スムーズに議事が運営されました。本当にご苦労さまでした。



【3年生】 命の大切さを学ぶ教室を実施しました。

2016年に小学1年生の娘(当時6歳)を交通事故で亡くした池田かおりさんが6月28日(金)に講演に来てくださり、「素晴らしい毎日を大切に過ごしてほしい」と呼びかけてくださいました。池田さんの四女・陽菜さんは、7歳の誕生日を目前に控えた2016年12月に自宅近くの交差点で車にはねられて亡くなりました。友達と遊びに行く陽菜さんを池田さんが「気をつけてね」と送り出した直後のことだったそうです。講演会の冒頭で、池田さんは陽菜さんの生涯をつづった絵本「そらがわらったよ」を朗読されました。その後、事故当時を振り返られ、「生きていること、元気に帰ってくることが当たり前と思っていた日々は奇跡の連続だった」と語られました。陽菜さんが事故に遭う前、小学校の授業で書いた「わたしはゆうえんちに行くことが好きです。みんなのえがおがみれるからです」との文章も紹介され「被害者になっても加害者になっても、事故からは悲しみしか生まれない。人を思いやり、周りの人を笑顔にする行動をしてほしい」と訴えられました。講演を聞いた生徒代表の生徒会長が「生きていることに感謝し、周りの人を大切にしたい」と話してくれました。

